

記者発表資料

提供日：平成19年6月18日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

連絡先：03-3664-8739



JFS 受賞マーク

## ジャパンフラワーセレクション 2007-2008

花壇苗部門「夏の審査会」を浜名湖ガーデンパークで開催し、  
16品種が入賞！

さらに「春の審査会」の品種の中から、補完審査システムにより  
1品種の入賞が決定しました。

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション 2007-2008」の花壇苗部門「夏の審査会」を6月15日に実施し、16品種の入賞が決定いたしました。さらに「春の審査会」の品種の中から、補完審査システム(※1)により1品種の入賞が決定しました。

今回「入賞」した品種は、JFS 受賞マークを表示して販売することができるのと同時に、12月の中央審査委員会で、年間を通じて決定する「フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)」「ベスト・フラワー(優秀賞)」「特別賞」の対象品種としてノミネートされます。

### (1) 夏の審査会 実施概要

■日時：2007年6月15日(金) 13:30~17:00

■場所：浜名湖ガーデンパーク

ジャパンフラワーセレクション審査用花壇 及び  
体験学習館1F会議室



### (2) 審査対象および結果

年4回(冬、春、夏、秋)季節ごとに実施する  
花壇苗部門のうち夏の出品品種を審査しました。

■「夏審査会」出品品種数:26品種 入賞品種数:16品種

―出品品目は、夏花壇の利用として期待されるペツニア(ペチュニア)、  
ポルツラカ(ポーチュラカ)等です。

―出品品種は早いものは4月から定期的に栽培状況を記録しており、  
審査時の花の状態と生育過程を合わせて審査しました。

■「春審査会」補完審査システムにより 入賞品種:1品種

※1：春の出品品種のうち、一回の審査会では結果が出せない品種(開花時期のずれなどの理由から)については、入賞決定を保留し、審査会月以外の毎月一回程度の観察会による、補完審査システムを導入して審査をしました。今回の夏審査会では「春審査会」の出品品種の中から、継続的な生育経過の観察結果と現地審査により、入賞を決定しました。

### (3) 審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

大川 清	園芸学研究者	静岡大学名誉教授
齋藤 彰	生花市場	(株)するが花き卸売市場取締役園芸部長
村松 文彦	フラワーデザイナー	(株)村松園芸 代表取締役
石原 記念男	日本ハンギングバスケット協会	理事長
三輪 智	園芸学研究者	元静岡県農業試験場場長
岩井 弘則	園芸学研究者	元(財)浜松市フラワー・パーク公社園長

(4) 入賞品種、受賞者は別紙

(5) 審査委員講評

今回の出品点数は10品目26品種で、入賞16点であった。前日から審査当日の朝まで雨が降った影響で、雨に弱いとされるペチュニアのなかでも、それほど影響を受けていない品種(ブリエッタ系)と、花がほとんど開いていない品種が見られた。

特に、入賞したペチュニア(ペチュニア)「ブリエッタワインベルベット」は耐雨性が著しく、審査当日の朝まで降っていた雨の影響をまったく受けない点が高く評価された。また、完全に横に広がる匍匐性があり、草の勢いも強く、花色が鮮やかで、花の形もよいため、総合的に見て推奨できる品種と判断された。入賞品種のうちインパティエンス(インパチェンス)「サンパチェンス ラベンダー」、「サンパチェンス 斑入りサーモン」、アンゲロニア「セレナ・ラベンダーピンク」、「セレナ・パープル」、エウオルウルス(エボルブルス)「ブルーシエル」、ローベリア(ロベリア)「ラピュタリア スカイブルー」、ヘレニウム「ダコタ・ゴールド」ら7点は、いずれも新しい花壇材料として期待される。

今回の審査では入賞は見送られたが、継続観察の対象となった品種が6点あった。10月の秋審査会の審査日まで観察して、秋審査会の出品と同時に審査する予定である。(大川清委員長)

(6) 次回審査会

切花部門・鉢物部門		花壇苗部門	
2007年11月23日(金)~25日(日)	かんさいフラワーショー 審査日:11月23日(金)予定	2007年10月15日(月)	秋審査会 会場:静岡県浜松市 浜名湖ガーデンパーク
主催:かんさいフラワーショー実行委員会 (花き関係団体主体) 会場:大阪府大阪市 花博記念公園			



全部門共通	
2007年12月上旬	中央審査委員会 ・1年間の入賞品種を審議 ・フラワー・オブ・ザ・イヤー等の選考
2007年12月13日(木)	フラワー・オブ・ザ・イヤー授賞式 ※記者発表会を兼ねます

**入賞品種の中から、2007年12月13日に第2回フラワー・オブ・ザ・イヤー決定!**



左記が、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせする JFS 受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。

世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

■お問い合わせ先 : ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局  
 TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743  
 〒103-0004 中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階 (財)日本花普及センター内  
 E-mail : jfpc@jfpc.or.jp  
 ★今年の入賞品種はこちらをご覧ください。 [www.jf-selections.net](http://www.jf-selections.net)